

新型コロナウイルス感染症対策

日常生活と子どものマスク着用について

マスクの着用が長期化する中、厚生労働省において、マスク着用の考え方が示されました。これから気温や湿度が高くなる季節を迎えるため、マスクの着用による熱中症のリスクにも気を付けなければなりません。次の事例を参考に、一人ひとりが感染対策をとりながら、暮らしやすい社会をつくっていきましょう。

日常生活(屋外・屋内)でのマスク着用について

屋外では、人との距離(2m以上を目安)が確保できる場合や、距離が確保できなくても、会話をほとんど行わない場合は、マスクを着用する必要はありません。また、屋内では人との距離(2m以上を目安)が確保でき、会話をほとんど行わない場合は、マスクを着用する必要はありません。



屋外	距離が確保できる	距離が確保できない	屋内	距離が確保できる	距離が確保できない
会話あり	 目安 2m 以上 マスク必要なし	 マスク着用推奨	会話あり	 目安 2m 以上 マスク着用推奨	 マスク着用推奨
会話少ない	 散歩やランニングなど マスク必要なし	 人とすれ違う場面 マスク必要なし	会話少ない	 図書館での読書や芸術鑑賞 マスク必要なし	 通勤ラッシュや人ごみの中 マスク着用推奨

子どものマスク着用について

◆就学児(小学生から高校生)のマスク着用の必要がない場面

屋外 人との距離が確保できる場合や、会話をほとんど行わないような場合

＜例＞離れて行う運動や移動、鬼ごっこなど密にならない外遊び、教育活動(自然観察・写生活動等)

屋内 人との距離が確保でき、会話をほとんど行わないような場合

＜例＞個人で行う読書や調べたり考えたりする学習

学校生活 運動場やプール、体育館等での、体育の授業や運動部活動、登下校の際

◆未就学児(小学校入学前)のマスク着用について

2歳未満の子ども マスクの着用は推奨しません。

2歳以上の就学前の子ども 人との距離にかかわらず、マスク着用を一律には求めません。マスクを着用する場合は、保護者や周りの大人が子どもの体調に十分注意したうえで着用しましょう。



- ・高齢の方と会う時や病院に行く時は、マスクを着用しましょう。
- ・夏場は、熱中症防止の観点から、マスクが必要ない場面では、マスクを外すことを推奨します。
- ・マスクを着用しない場合でも引き続きの手洗い、「密」の回避等の基本的な感染対策を継続しましょう。